



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <https://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第562号

2022年9月5日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

八千代医療センターで何が起きているのか

東京女子医科大学八千代医療センターは、八千代市の地域医療を担う中核病院として2004年に開院しました。救急医療や周産期母子医療など市民の安心・安全のよりどころとして、特に、コロナ禍のなかで医療センターの役割は、重要となっています。

ところが、医師不足などにより血液内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌代謝内科、リウマチ・膠原病内科、皮膚科の5つの診療科は、新規受付が1年以上も中止されたままになっています。その背景には、昨年1月時点で214人の常勤医師が在籍していたのに、今年1月には189人と25人も減っているからです。



医療センターは6年連続の黒字なのに

八千代医療センターは、2016年度から毎年黒字決算となっており、医師や医療スタッフを雇用することが困難ということはまったくありません。しかも医療センターには、八千代市からこれまで107億円超の補助金が交付されているのです。

八千代医療センターは独立採算ではなく、東京女子医科大学本院に組み込まれています。この間、「働き方改革」の名のもと、掛け持ちでの仕事ができなくなり、ワンマン経営と営利主義のもと、業界の中では低賃金と言われる東京女子医大に見切りをつけたというのが実態ではないでしょうか。

誘致の段階から「東京女子医大」ありき

八千代市は「市立病院」の建設を念頭に、病院建設基金を積み立てていました。しかし、バブルがはじける中で、大学病院等を誘致する方向に舵を切りました。

いくつかの大学が候補に挙がったといわれるなかで、東京女子医大を誘致するとの構想が持ち上がり、市民から「東京女子医大」ありきではとの批判の声が広がり、たまりかねて東京女子医大は「進出せず」との撤退を表明したのです。

ところが、自治会・町会など市内の各種団体を動員して、東京女子医大の誘致を求める10万の署名を受け、土地の無償提供とともに、80億円を超える補助金を交付するという破格の条件で誘致することになったのです。

医療センターと市は、責任を果たせ

東京女子医科大学八千代医療センターの理念は、「至誠と愛」に基づき、皆様に信頼される病院を目指しますと謳われているにもかかわらず、日々信頼を失っているというのが実態です。

日本共産党は、医療センターが市民の命と健康を預かる中核病院として、医師や医療スタッフの流失を防ぐ手立てを速やかに講じるよう強く求めています。同時に、八千代市は、「運営協議会」を形式で終わらせずに、市民の命と健康を守る病院となるよう実態ある協議会へ改善すべきです。